

第12回全国和牛能力共進会

和牛審査競技会で磐城農業高校生が日本一！！

畜産部 家畜市場課

「和牛のオリンピック」と称される全国和牛能力共進会が、10/6～10/10鹿児島県にて開催され、福島県代表は種牛の部11頭、肉牛の部7頭、出品者18名、和牛審査競技会参加者2名の精鋭をもって参加しました。

その中で先陣を切って開催された和牛審査競技会高校生の部において、磐城農業高等学校2年生の岡部美知留さんが見事最優秀賞を勝ち取り、日本一となりました。

また、同じく和牛審査競技会女性・後継者の部で出場した渡邊恋音さんが優秀賞に入賞し、福島県出品団に活気をもたらす嬉しい受賞となりました。優良な和牛を正しく選定できることが評価されたことで、お二人の今後の畜産業界での活躍が期待されるそうです。

なお、種牛の部においては、出品者全員が日頃からの鍛錬の成果を発揮し、審査会場において非常に落ち着いて出品していたことが印象的でした。また、出品者をサポートし続けた若い方々の協力体制もすばらしく、このような大きな舞台を経験できたことは今後の大きな財産になりました。

特設会場のPRブースにおいては、来場者へ福島牛の試食を提供し、全国へ向け福島牛の美味しさを発信することができました。

次回、5年後の第13回全国和牛能力共進会は、北海道を舞台として開催することが決定しております。今後も福島牛のプライドを胸に、再び全国の舞台で飛躍できるようJAグループ一丸となって取り組んでまいります。



特別区みこい3号と喜びを分かち合う岡部美知留さん



福島県出品団全員で記念撮影

～JAグループ農産物直売所新米キャンペーン開催～

福島牛などが当たる!!

米穀部 米穀販売課

福島県内のJAグループ農産物直売所31店舗において、新米キャンペーンを実施しております。

キャンペーンは、対象店舗で1,000円以上のお米を購入し、レシートを応募はがきに貼り、店舗内応募箱へ投函するか郵送で応募いただくと、福島牛5,000円相当、麓山高原豚3,000円相当、県内直売所商品詰め合わせ5,000円相当の福島県農畜産物賞品が、総勢1,250名に当たります。

キャンペーンは12月4日まで開催しておりますので、このお得な機会に、ぜひお近くのJA農産物直売所で「ふくしまの新米」をご購入ください。

今年も、とっても美味しい福島の新米ができました！

詳しくはキャンペーンwebでご確認ください。

<https://fukushimanokome-shinmai2022.jp/>



南相馬市で農福連携作業体験会を実施しました！

営農支援部 TAC推進課課

南相馬市の菊地洋一さんのブロッコリー圃場にて、農福連携作業体験会を行いました。1.6haの圃場にて、就労継続支援B型きぼうのあさがおの利用者の皆さんが除草作業を実施しました。利用者の皆さんはブロッコリーの除草は初めてとのことでしたが、他農場での除草経験を活かし、慣れた手つきで丁寧に除草作業を進めてくださいました。JA全農福島ではこれからも各JAと連携して、労働力不足に悩む生産者の皆さんに農福連携などの労働力支援を行っていきます。



作業の様子



作業前に記念撮影

届け産地の想い！

JA福島さくら2年ぶりのベトナム向けなし輸出再開へ

園芸部 郡山園芸センター

9月26日に大阪府堺港から生産者と産地関係者の想いをのせたJA福島さくらのなし「豊水」が2年ぶりにベトナムへ向けて出発しました。

JA福島さくらのなし輸出はベトナムへの日本産なし輸出規制が解除された2017年から続いていましたが、昨年は新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響を受け、残念ながら輸出を断念せざるを得ませんでした。

そのため、今年は何とか輸出を再開し、福島県のなしを心待ちにしているベトナムの方に食べてもらいたいという想いのもと、生産者やJA・関係各所・当県本部等が一丸となって、輸出に必要な準備や手続き・検査等を無事完了し、ベトナムへのなし輸出を再開することが出来ました。

今年はいわき地区から「豊水・新高」、郡山地区から「二十世紀」の3種類のなしが約7トン、ベトナムに輸出され、10月上旬から11月上旬にかけて現地のイオン約30店舗で販売されており、現地からは「福島県のなしはとても甘くて美味しい」と大変好評をいただいています。

今後も当県本部は生産者の方々と消費者のみなさまを安心して結ぶ懸け橋として関係各所と連携し、さらなる福島県産農畜産物の輸出拡大へ向け尽力します。



植物検疫の様子



輸 outputs 発式テープカット



イオンベトナムでの店舗販売の様子

～生分解性マルチ圃場巡回～

施設資材部 資材課

10月5日JA会津よつば塩川地区において生分解性マルチの生産者巡回を実施しました。

生分解性マルチとは、微生物によって分解される性質を持ったマルチフィルムのことです。収穫後に土中にすき込むことで廃プラを排出しないため、労力軽減や廃棄コストを低減でき、近年、SDGsの関心の高まりもあり、大変注目されている資材です。

生産者からは「フィルムの撤収作業が楽」「通常のマルチフィルムより薄いので分解がしやすい」といった声を聞くことができました。今後もより多くの生産者に利用してもらえよう、生分解性マルチの普及拡大に尽力していききたいと思います。



はくさい



キャベツ



ブロッコリー



技術情報だよりvol.5を発行いたしました！

肥料農薬部 技術対策課

今回のテーマは「拡散性水稲除草剤」による省力散布方法についてです。近年、各農薬メーカーから自己拡散性を持つ水稲除草剤（豆つぼ剤、ジャンボ剤、FG剤、楽粒、エアー粒剤など）が流通し始め、さらに農薬登録の拡大等によって様々な散布方法が可能となってきました。拡散性水稲除草剤を上手に用いることで、今までの除草にかかっていた労力が大幅に削減できるかもしれません。

＜自己拡散性とは＞ 散布した農薬自身が田んぼの水面を浮きながら移動し、成分を広い範囲にわたって溶かし出す農薬のことです。拡散力が優れるため、圃場内に入って中心部の散布をする必要や特別な機器を用いる必要がありません。そのため、通常の1キロ粒剤などと比べて、圃場の端から端まで丁寧に均一散布する必要が無く、散布時間を大幅に削減することができます。さらに、粒径が1キロ粒剤に比べて大きく、ドリフトの心配も少ない特徴があります。

自己拡散性を持つ除草剤のことや詳しい散布方法については、お近くのJAへお問合せ下さい。また、技術対策課では肥料・農薬・営農に関する技術情報を随時発信しておりますので、ご興味がありましたらご一読ください。

JA全農福島令和5年度新規採用者内定式開催

管理部 総務人事課

JA全農福島は、10月3日（月）にJA福島ビルで令和5年度新規採用内定式を実施しました。内定者6名を迎え、渡部県本部長からは「来年の4月1日に元気な姿でお会いできること楽しみにしています。残された学生生活を満喫し、今度は社会人として我々の仲間として活躍してほしい」とのメッセージがあり、内定者一人ひとりに採用内定通知書を交付しました。

その後、内定者と先輩職員との意見交換会を開催し、各部門の先輩職員が業務内容を紹介したり、自分が実際に担当している業務等をわかりやすく紹介しました。

内定者の中には「果物が大好きなので園芸部に興味がある」「米穀部に興味がある。需要拡大キャンペーンはどのように実施しているのか？」など様々な意見が飛び交いました。

意見交換会終了後、内定者には福島県産の梨と巨峰の詰合せが贈られ、管理部長から「農家が愛情込めて栽培した果物ですので召し上がってください。また元気な姿でお会いしましょう！」と来年度より活躍が期待される内定者にエールを送りました。



内定者に採用内定通知書を交付する渡部県本部長



内定者に部門紹介をする佐藤元職員

～JA全農 全国野球大会開催！！～

管理部 総務人事課

JA全農主催の全国野球大会が10月13日～14日の2日間にわたり、埼玉県さいたま市で開催されました。この大会は県経済連・県農協および全農役職員の健全なる精神の高揚と、健康増進および中堅・若手世代の交流をはかり、系統経済事業のさらなる活性化と団結強化を目的として開催されています。

全国を6地区に分けて地区大会を実施し、地区大会を勝ち抜いた代表チームにより試合が行われます。去る7月に行われた東北地区野球大会で福島県本部が優勝を飾り、今回の全国大会出場への切符を手に入れました。

今大会の出場チームは8チームで、各地区を勝ち抜いた強豪揃いです。当県本部の1回戦の相手は広島県本部でしたが、4対0と快勝。続く2回戦、この試合に勝てば決勝進出となりますが、相手は強豪の佐賀県農協です。善戦むなしく1対4で敗れてしまいましたが、千葉県本部との3位決定戦では、6対1と圧勝し、見事に全国大会3位入賞という快挙を成し遂げました。

この大会を通して、当県本部はしっかりと「福島復興」をPRすることができたのではないのでしょうか。

